

丸成林建設(株)

岐阜市・建設業

従業員数／男性14名 女性8名 計22名 ※令和4年11月現在

エクセレント POINT

- ①定時退社の徹底で所定外労働時間は月6時間未満
- ②「女性の活躍プロジェクト」や資格取得費用の助成による女性活躍の推進
- ③子育て・介護との両立を支援する柔軟な勤務形態の導入



女性の職域拡大により、2022年4月には土木部に女性を採用。

丸成林建設では、2000年に社員が作業中に軽微なけがをして以降、社員一丸となり事故再発防止の取り組みを行う。体調面で不安なことなどを伝え合う毎朝のミーティングや下請け先を同席させての現場ミーティング、毎月の労働安全衛生月例会議では他社の事故発生状況を共有するなど、事故の再発防止に努めている。その結果、16

年7月に約65万時間の無災害を記録し、厚労省の「第1種無災害記録証」を取得した。現在は第2種(97万5000時間無災害)を目指し、安全への決意を新たにしている。

疲労を蓄積させないことが労働災害を抑える上で重要となることから、休日出勤を行った場合には代休の取得を促し、体調管理に配慮。

また、定時退社も徹底し、所定外労働時間を月6時間未満に抑えている。林茂樹社長は「現場監督は、空いた時間を使って現場事務所で書類作成をするなど、効率的に仕事ができるようそれぞれが工夫している」と話す。

女性の活躍推進にも力を入れる。職域拡大を図り、希望する女性には工事現場での実務も経験させており、2人が1級、さらに20年2月にも1人が2級の土木施工管理技士の資格を取得。また、22年4月に

社員一丸で65万時間無災害



「女性の活躍プロジェクト」では、女性が働く上でネックになりそうな問題点などを話し合うことで、活躍推進の基盤づくりに取り組む。

は土木部に新卒の女性を採用。他にも建設業経理検定の資格費用の助成も行い、これまでに2人が1級、2人が2級を取得している。22年入社の小森さんは、現場で学びながら積極的に小型車両系建設機械などの資格を取得している。また、現場の生産性向上のためにICTのスキルアップセミナーにも参加し、3Dデータの作成方法などを勉強中。これから会社を担っていく人材として早くも活躍している。